※令和４年度以降入学生用

学校番号	105

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（光村図書）						
副教材等	使用しない						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

■書道Ⅱでは、書道Ⅰで学んだ楷・行書体に加え、篆・隷・草の各書体を学び、表現と鑑賞の能力をさらに伸ばしていきます。
■書道の一分野である篆刻を学習します。用具・用材を大切に扱い、自分の名前印を作ることで、名前と作品に愛着を持つ心を育みます。
■漢字の起源や文字の歴史に触れ、技能の習得のみならず幅広い知識を身に付けます。

２　学習の到達目標

⑴　書道の幅広い活動を通して、書の表現の多様性について理解を深めるとともに、書の伝統に基づいて作品を効果的に表現する技法を身につける。
⑵　書のよさや美しさを感受し、個性豊かに表現する。
⑶　主体的に創造活動に取り組んで、書の伝統と文化と関わることで心豊かな社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書の表現の多様性について、書の創造的活動を通して理解を深めている。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的・創造的に表現するために必要な技能を身に付け、表している。	・書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりしている。	・書の伝統と文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造的活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	漢字の書（篆書）	・漢字の五書体と変遷 ・漢字の生まれた姿 ・甲骨文 ・金文 ・小篆	a:逆筆の筆使いを理解し、各時代における篆書の基礎的な用筆を身に付け表している。 b:篆書が使われていた時代の文字の役割について理解し、感性を働かせながら表現を工夫している。 c:漢字の起源や書体の変遷について関心をもち、表現や鑑賞の活動に主体的・意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ポートフォリオ
	篆刻	・篆刻の用具・用材について ・朱文印と白文印 ・印稿を作る ・布字 ・刻する(印刀の使い方) ・押印する(印泥の使い方)	a:印刀や印泥を正しく扱い、押印した時の美しい線を表現するための技能を身に付けている。 b:篆刻の分間布白や朱文・白文の違いを理解し、表現を工夫している。 c:篆書の美しさや印の作成工程について関心をもち、主体的・意欲的に取り組もうとしている	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ポートフォリオ
2	漢字の書（隷書）	・漢字の五書体と変遷 ・隷書の特徴と表現方法 ・隷書の基本点画 ・曹全碑 ・乙瑛碑	a:逆筆や波磔などの隷書の基本的な技能を身に付け表している。 b:字形の取り方や全体のバランスを構想し、表現を工夫している。 c:隷書の特徴やその美しさについて関心をもち、表現の活動に意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ポートフォリオ

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じりの書	・ポスターや広告の題字を考える ・作品に相応しい書体選び ・漢字と仮名の調和 ・配置構成の工夫 ・紙・筆・墨の工夫	a:それぞれの書体の用筆を活かして表現し、仮名を調和させる技能を身に付け表している。 b:様々な線質や構成の方法を利用したり、創造したりして、自らの意図に基づいて作品に相応しい表現を工夫している。 c: 生活の中の書の効用に関心をもち、題材に相応しい書体やその効果について考え、意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ポートフォリオ
3	漢字の書（草書）	・漢字の五書体と変遷 ・草書の特徴と表現方法 ・名前を草書で書く ・一字書作品の制作	a:草書体とその代表的な古典、著作者について知識を深め、行書の基礎的な用筆、運筆法を身に付け表している。 b:草書の曲線美を感じ取り、筆圧の変化や運筆の速度、点画の連続などの筆の動きを捉え、表現を工夫している。 c:文字を丁寧に書くことと、速く書くことを意識し、練習を繰り返して、主体的・意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ポートフォリオ
	仮名の書	・仮名の基本用筆 ・平仮名、変体仮名を書く ・連綿を書く ・百人一首 ・散らし書きに挑戦 ・料紙に書く	a:平仮名の字源を理解し、正しい姿勢と執筆法、適切な墨色で、仮名の基本的な用筆や連綿の表現法を身に付け表している。 B:仮名の流線美・運筆のリズム・字形の取り方など、古筆を基にして表現を工夫している。 c:仮名の古筆の美しさやその価値、表現方法などに関心を持ち、文字を丁寧に書くことを意識し、練習を繰り返して、主体的・意欲的に取り組もうとしている。	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ワークシート ・提出作品 ・ポートフォリオ	・観察 ・ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度